

2022年4月18日

国立大学法人 筑波大学
学長 永田 恭介 様

茨城県筑西市一本松1755番地2
一般財団法人 関 彰 育 英 会
代 表 理 事 関 正 樹

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご芳情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当法人は、昭和59年（1984年）設立以来37期にわたりまして、茨城県立高校出身者の大学就学支援ならびに平成17年より奨学の目的を従来の「就学支援」から「研究支援」に替えて行っております。

つきましては、下記要項にて、貴大学院博士課程在籍者2名を当法人の奨学生として採用したく存じます。

ご多用中お手数に存じますが、該当者をご推薦いただきたく、必要書類を同封させていただきました。

何卒、宜しくご高配賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

申請の資格

- 1) 2022年4月、貴大学院一貫制博士課程3年次生に進級した方（今年度3年次編入学者も含む）および博士後期課程1年次生に入学した方。
- 2) 人物、学力ともに優れ、経済的に当法人の奨学金を必要と認められる方。
- 3) 低所得者を優先するが、特に上限は設けない。

提出書類

- ・当法人所定の書類
- ・所得に関する証明書

提出期限

2022年5月20日（金）

支給の額・方法等

- 1) 月額5万円を標準修業年限の期間中にわたり支給します。
- 2) 毎年6月、9月、12月に年支給額の3分の1ずつを銀行振込にて支給します。
- 3) 返還の必要はありません。

奨学生の義務

- 1) 当法人が実施する年2回の交流会に参加し、奨学生相互の啓発向上、社会貢献への志を高めること。
- 2) 毎年度末に「学業成績証明書」、「生活状況報告書」、「研究進捗報告書」を提出すること。
- 3) 給与期間終了時に「学業成績証明書」、「進路報告書」、「研究結果報告書」を提出すること。

通知

奨学生採用決定後、本人および学長宛て文書にて通知します。

その他選考に関して

- 1) 研究分野より2名
 - ① 芸術に関する研究分野
 - ② 体育（スポーツ医学含む）に関する研究分野
 - ③ 教育に関する研究分野※応募者は上記研究分野から応募する研究分野を選択し、その旨を別添の（様式1）奨学生願書の「応募する研究分野」欄に記入してください。
- 2) 貴大学で候補者を選定いただき、当法人において選考いたします。

書類ご提出先・お問合せ先

一般財団法人関彰育英会 事務局 草野 伸一
〒305-0051 茨城県つくば市二の宮一丁目23番地6（関彰商事株式会社 総務部内）
TEL 029-860-5151 FAX 029-855-5671

以上

一般財団法人関彰育英会 奨学生推薦調書

| | |
|----------|---|
| 氏 名 | フリガナ |
| 生 年 月 日 | 年 月 日 (歳) |
| 大学名・研究科等 | 筑波大学大学院 ・博士後期課程 1年次 研究科 専攻 年 月 入学 |
| 推 薦 理 由 | <hr/> |

推薦者 国立大学法人 筑波大学
学 長 永 田 恭 介 印

記載者 所属・職名
氏 名 印

家 庭 調 査 書

| | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|------------------|----|------------------|------------|---------------------------|----------|---------------|-----------------------|-----------------------|--|
| 申 請 者 | 所属 | _____学群 _____学類 _____年次 | | | | | | | | | | |
| | | _____課程 | | | _____大学院 | | | _____研究群 | | | _____年次 | |
| | 学籍番号 | | | | | | | 性別 | 男・女 | 現住所 | 〒 _____ TEL (_____) | |
| | フリガナ | | | | | | | | 家族住所 | 〒 _____ TEL (_____) | | |
| 氏名 | | | | | | | | | | | | |
| 家 族 及 び 所 得 | 就 学 者 を 除 く 家 族 | 続柄 | 氏名 | 年齢 | 職業 | 在職期間 | 勤務先名称 | | 給与所得の収入金額(税込) | 給与所得以外の所得金額 | | |
| | | 父 | | | | 年 | | | 万円 | 万円 | | |
| | | 母 | | | | | 年 | | | 万円 | 万円 | |
| | | 父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 () | | | | | | | | | | |
| | | 主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 () | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 年 | | | 万円 | 万円 | |
| | | | | | | | 年 | | | 万円 | 万円 | |
| | | | | | | | 年 | | | 万円 | 万円 | |
| | | | | | | | 年 | | | 万円 | 万円 | |
| | 別 居 者 に ○ 印 | 就 学 者 | 続柄 | 氏名 | 年齢 | 学校名 | 設置者別 | 学校種別 | | 通学別 | 控除額 | |
| 本人 | | | | | 筑波大学 | 国立 | | | ※自宅 自宅外 | 万円 | | |
| | | | | | | ※国公立 私立 | ※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門) | | ※自宅 自宅外 | 万円 | | |
| | | | | | | ※国公立 私立 | ※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門) | | ※自宅 自宅外 | 万円 | | |
| | | | | | | ※国公立 私立 | ※小・中・高・高専・大学 専修(高等・専門) | | ※自宅 自宅外 | 万円 | | |
| 家 庭 の 特 殊 事 情 | 特別控除項目 | | 控除有無 | | | | | | | | | |
| | 障害者がある世帯 | | ※有・無 | | 続柄 () 氏名 () | | 手帳番号 () | | 万円 | | | |
| | その他 | | | | | | | | | | | |
| 本 人 の 状 況 | 家庭からの給付 | | 月額 (千円) | | | | | | | | | |
| | アルバイト | | 月額 (千円) 内容 () | | 総収入金額 ① 万円 | | | | | | | |
| | 奨学金 | 受給中 | 月額 (千円) 団体名 () | | 必要経費 ② 万円 | | | | | | | |
| | | 申請中 | 月額 (千円) 団体名 () | | 特別控除額 ③ 万円 | | | | | | | |
| | その他の収入 | | 月額 (千円) 内容 () | | 総所得金額 ④=①-②-③ 万円 | | | | | | | |
| 学 業 成 績 | 評 価 | 高等学校 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 平 均 値 | 収入基準額 | 世帯人数 人 | | |
| | | 大学(院) | A | - | B | C | - | | | ⑤ 万円 | | |
| | 修得単位数または科目数 | | | | | | | | 家計充足率 | ⑥=④÷⑤×100 | | |

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。